

登録コード	SSA31500	開講年度	2026		
授業題目	学外特別講義			担当教員	宮西 吉久
英文授業名	Special lecture in other institute			副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	・不定期
講義室				備考	
信大コンベンション	非該当				
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】			⇔	【授業の達成目標】
	2 4 SSカリ・理学				
	～24SS 【DP3】 それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力			⇔	数理科学に関する話題を広くまたは深く理解する。
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学				
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力			⇔	数理科学に関する話題を広くまたは深く理解する。
(2)授業の概要	国内外の高等教育機関等が開講している授業や国内外での広範な活動成果について、履修希望者からの申請に基づき、履修（活動）の内容・時間数・難易度等が本学の単位として他の授業レベルに相当するか否かを個別に評価した上で単位認定をする。単位認定の対象となるかについては事前に教務委員に相談が必要である。				
(3)授業のキーワード	専門的知識、情報の収集・発信				
(4)授業計画	1. 教務委員との相談（受講の承認と申請） 2. 受講（他の教育機関のシラバスや海外留学のプログラム等を参照） 3. 単位認定の申請 受講・留学等終了後1ヶ月以内に下記の資料を揃え、教務委員に提出する。 ・活動(履修)の内容・時間数等を証する書類、単位取得証明書、修了証など ・その他、授業担当教員から指示のある資料等				
(5)成績評価の方法	教務委員が提出された資料に基づき、活動(履修)の内容・時間数・難易度等が本科目として、本学の他の授業レベルに相当するか否かを評価した上でその達成度に応じて成績を認定する。 （他の教育機関等が与えた評定がある場合、提出すれば評価の参考とする。） なお、評価段階において必要に応じてヒアリングを行うことがある。				
(6)成績評価の基準	秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：授業の達成目標の水準にある 不可(D)：授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可(F)：授業の達成目標の水準にない				
(7)事前事後学習の内容	受け入れ先の教育機関等により異なる。				
(8)履修上の注意	1. 事前に教務委員の承認を得ずに受講した場合は単位認定されない場合があるので注意すること。 2. 原則、大学院入学後の受講・留学等のみを対象とする。				
(9)質問,相談への対応	教務委員へ問い合わせる。				
【教科書】	指定しない				
【参考書】	受け入れ先の教育機関等により異なる。				